

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会  
460-0006 名古屋市中区葵 1-27-32 カイフビル 7階

# HD ニュース

No.27  
2015.5.15

今後の予定／於：事務局会議室

- 5月14日(木)19:00～ 役員会
- 5月19日(火)18:00～ マンション大規模修繕研究会
- 5月19日(火)19:00～ 研修会
- 5月21日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 6月16日(火)18:00～ 相談委員会
- 6月16日(火)19:00～ 研修会

## 愛知建築士会地域貢献活動助成事業の報告

副理事長 森 登

愛知地域貢献活動助成事業に認められた「三河地方の地震と災害に備えた安全な住まいづくり事業」が終了したので報告させていただきます（事業内容についてはHD ニュースNo. 26をご覧ください）。

資料づくりは当会員の川窪設計工房・川窪巧さんのご協力ご指導を頂き、54ページと充実した内容になりました。資料を見ればこの地域の地盤の成り立ちを含めた地震・災害の歴史と、そこから学べる地震対策・支援制度及び現状の問題点があぶり出せたと自負します。



講演会及び住まいの相談会（碧南市建設部建築課後援）を、3月28日（土）碧南市役所2階談話室にて行い、33名の参加がありました。実施に際し当会員の(有)井上建築設計室・井上邦克さん、碧南市役所建設部建築課鈴木厚男さん、安田浩二さんにご協力を頂きました。「三河地方の地震と災害を学ぶ」と題し川窪巧さんに、「三河地方の地震対策を知る」と題し森登が、更に「三河地震の語り部に聞く」と題し碧南市在住の高橋祐治さんに講演して頂きました。川窪さんからは伊勢湾台風時の名古屋市南区白水小

学校区付近の生々しいご自身の被災体験と災害に備える為の「心の準備をすべき」を教わりました。高橋さんからは、三河地震より約1ヶ月前に発生した東南海地震と関連付けてお話いただき、地震時の揺れの様子・被害状況・地域住民の対応の様子などから、「普段の住民同士の結びつき」の大切さを再認識させられました。又、相談会では耐震・リフォームに関して3組の相談がありました（この相談会は愛知建築地震災害軽減システム研究協議会から、平成26年度耐震化支援事業として助成を受けています）。

尚、資料については3月28日付けで小冊子にまとめました。近々HP上で資料をPDFにて閲覧できるようにする予定です。

3月30日に愛知建築士会へ事業の報告書を提出しました。10月の建築展会場にて発表会を行う予定との事です。

平成27年度は継続事業として、同市にて他の小学校区でのケーススタディを検討しています。更に、西尾市にて同様の講演会・相談会を開催する予定です。路上観察を踏まえたハザードマップ改善点のあぶり出しや、耐震改修が進まない現状の打開策を検討しつつ、耐震改修困難者・被災弱者の救援策を模索していきたいと考えています。

事業活動には多くのエネルギーが必要となります。仕事の合間を縫っての活動にならざるを得ませんが、当法人に会員として応援していただいている皆さんの参加をお待ちしています。時間を作るのが難しいとは存じますが、一度活動の様子を覗きにきてください。懇親会（安くて旨い）にて、熱い想いを語りましょう・・・。

本紙バックナンバーは当会のホームページ<http://www.sumaidoctor.or.jp>からご覧いただけます

ヨーロッパを旅した人が、街並みの美しさに感動して帰ってきます。それに対し、日本は、以前の農村風景などは、自然景観と調和し、大変美しい国だったと思います。



「東京ブラックアウト（若杉冽著）」という小説の中で、「今上陛下と皇后両陛下は、東日本大震災の被害に心を痛められている。とりわけフクシマ原発の事故については、美しい日本の国土が放射性物質により汚染され、いまだに15万人以上の住民が住み慣れた土地からの避難を余儀なくされていること、そして天から与えられし農作物や畜産物や海産物の恵みの多くが、未だに放射能の基準値を超え出荷停止となっていることに、深い悲しみを覚えておられる。皇居内の様々な儀式で、日々、日本国の民のため、農作物の豊作をお祈りになされている陛下にとっては、まさしくフクシマの現状こそが、千数百年以上

のあいだ脈々と続けられてきた天皇家が慮る最たるもの…フクシマでは、いま民の籠から煙が出ていないのである。陛下が私的旅行として足尾銅山の跡地を訪問されたことも、原子力災害を二度と繰り返すことのないようにとの陛下の強い意志の表れである。…中略…本当の保守というのは、原発の再稼働にこだわったり、経済成長を追い求めたり、ということではなくて、我が国の美しい国土や伝統文化を守る、という事ではないですかね？」長い引用になりましたが、ほとんどお言葉は、事実のような気がします。

著者は、現職のキャリア官僚で、前作「原発ホワイトアウト」でも、原発がどうして止められないのか、原発マネーの恐ろしさ、などの問題提起をした著作があります。

最近の新聞には、地方の時代といいながら、沖縄県民の意思を無視した「辺野古の美しい海」を中央政府（得票率で半分も得ていないが、選挙制度のおかげで圧倒的議席を持っている政府与党）が総がかりでつぶそうとする記事がありました。

また、京都の神社が維持管理のために神社の一部の土地を貸出し、分譲マンションを作るようになったとの記事もありました。伝統を守る、美しい景観を維持するという観点で考えると、原発にかかる費用を少し回せば解決することです。

建築にかかわっている私たちは、美しい建物、美しい街、美しい国を守るために、何ができるのでしょうか？まず、今この国で何が起ころうとしているのかを知ることから始めたいと思います。そして、声をあげなければならないと考えます。

■マンション大規模修繕研究会 4/14 18:00~19:00

「サンパーク津島」長期修繕計画書作成の見積りについて。（臨時委員会）

■木造技術研究会 4/16 18:30~20:30

「木造耐火建築物について」学習会。次回より「検査員が明かす建築確認の誤解 申請が『すんなり通る』100のツボ」をテキストとします。

■相談委員会 2/17 18:00~19:00

無料電話相談の相談内容報告、質疑、意見交換。電話相談当番。他

■技術研修会(第138回) 4/21 19:00~21:00

「知っておいて損はない、他にはない外装改修工事専門メーカーの技術」

講師：(株)エスジー 前原茂樹

■役員会 5/14 19:00~20:30

会員動向の概要、収支状況、建築士会・減災協成事業、HDニュース、マンション建設に伴う近隣建物事前調査業務、各委員会・研究会の活動報告。今年度事業について。